

KIMETSUNO YAIBA
UNOFFICIAL FANBOOK : 4
2019/11/30 CHON!



楽しい地獄の壺丁目

成人向



※attention

- ・単行本未収録の本誌ネタバレあり。
- ・2019年11月の時点で描いてます。

楽しい地獄の壱丁目

KIMETSUNO YAIBA
UNOFFICIAL FANBOOK : 4

CHON! 2019/11/30
pixiv id : 29815655
Twitter : tyoooooon_424
print : 栄光



感想などありましたら
お気軽にどうぞ~/

※無断転載・ネットオークション
フリマアプリ厳禁!!







!!!?



：地獄には
ウサギが
おるのか？

いや、こんな
愛らしい動物が
いるわけなからう

そもそも地獄とは
もつと悍ましい
場所ではないのか？

彼岸花が
そこら中に咲いて
多少気味が悪い
だけだぞ



まさか
天国にでも
来たのか…





…どうやら
ここは

……っ

地獄で
間違いない
ようだ

楽に
地獄
の
扉



少し歩くと
私の家が
ございます

そこまで
ご案内
致します



如何され
ましたか？



ここ一帯は
足元が悪い故
お気を付け下さ
い



何故お前は
地獄にいる？

一つ
聞いておきたい

…つまりぬ
冗談だ

こんな場所で
縁壺と再会す
などと



…ああ、来たばかりで
疲れているのですね

気が付かず
申し訳ござい
ません

よろしければ
私がおぶって
差し上げましょう

お前のような人間は
地獄に来るべき
ではないだろう

天国に
行くべきでは
ないのか？

頼むから
消えてくれ!!



お気遣い
ありがとうございます
ございます

兄上は
優しい



気遣ってなど
おらぬ…

!!?

ですが、



もう二度と
兄上と離れたく
ありません

私にとって
兄上がいな
い場所は

全て地獄
なのです



なので
天国から
抜け出して
参りました

お前に
出来ぬことは
ないのか?!

兄上に快適な生活を
送って頂きたいと思い

半月前から
此方に来て準備を
しております

もともと人が住める
環境ではなかった
のですが

今では
生物もいますし、
家の近くの畑で
野菜も収穫出来ます

兄上を歓迎する為に
ここを花でいっぱい
しようと思ひまして…

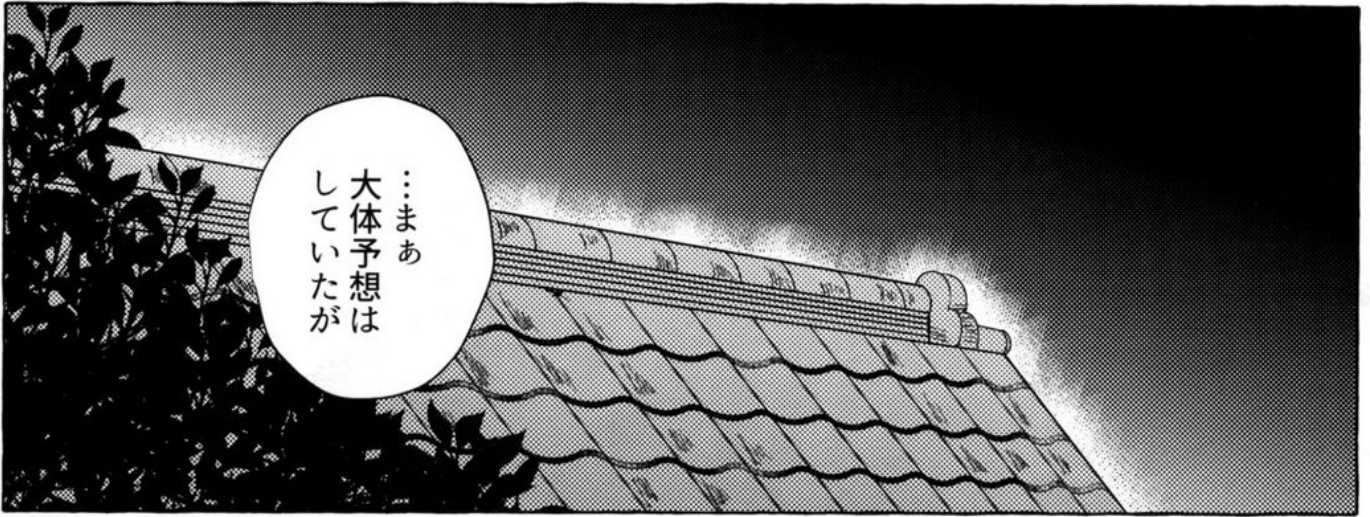
しかしどのような
花が良いか分からず、
もともと咲いてた
彼岸花を増やして
みたのですが

気に入って
下さいましたか?

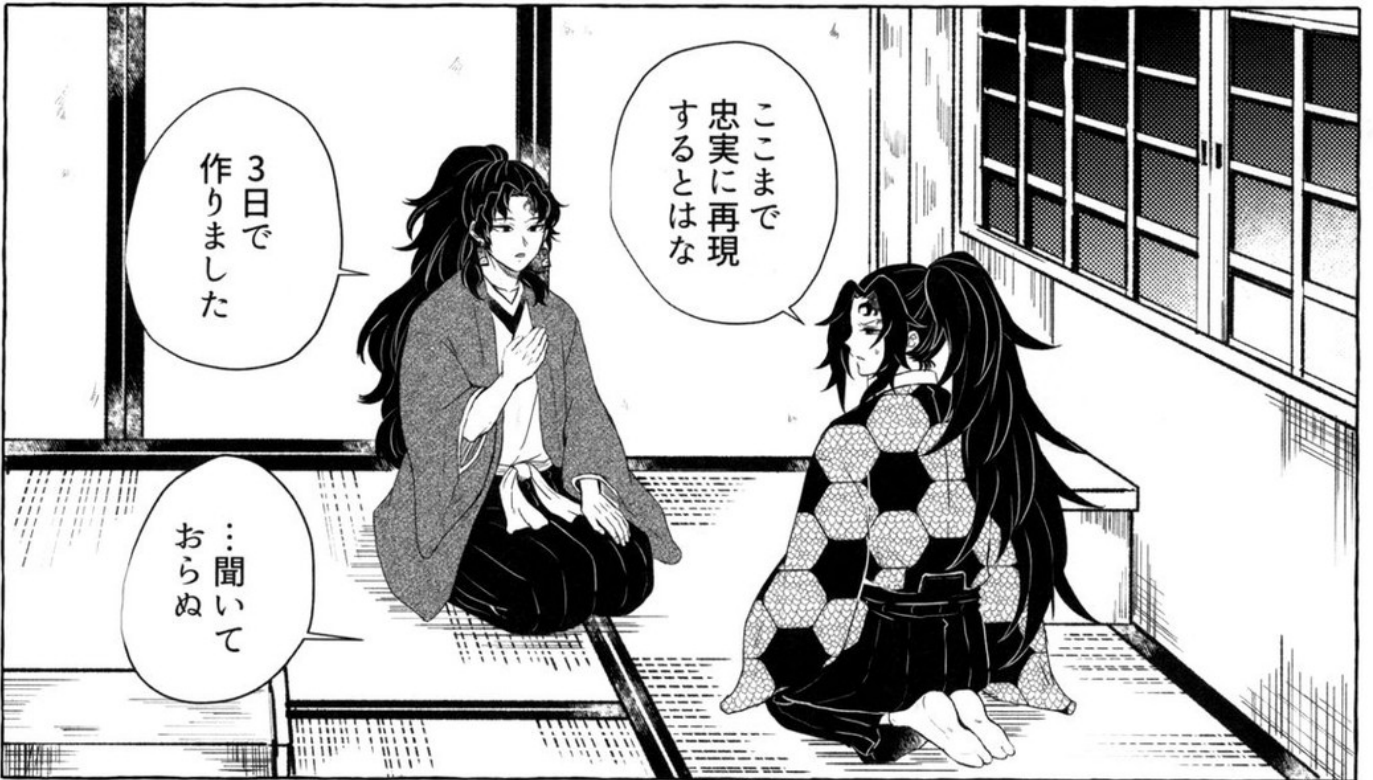
アレはお前の
仕業だった
のか!!

さあ、
そろそろ
着きますよ

!?



…まあ
大体予想は
していたが



3日で
作りました

ここまで
忠実に再現
するとはな

…聞いて
おらぬ



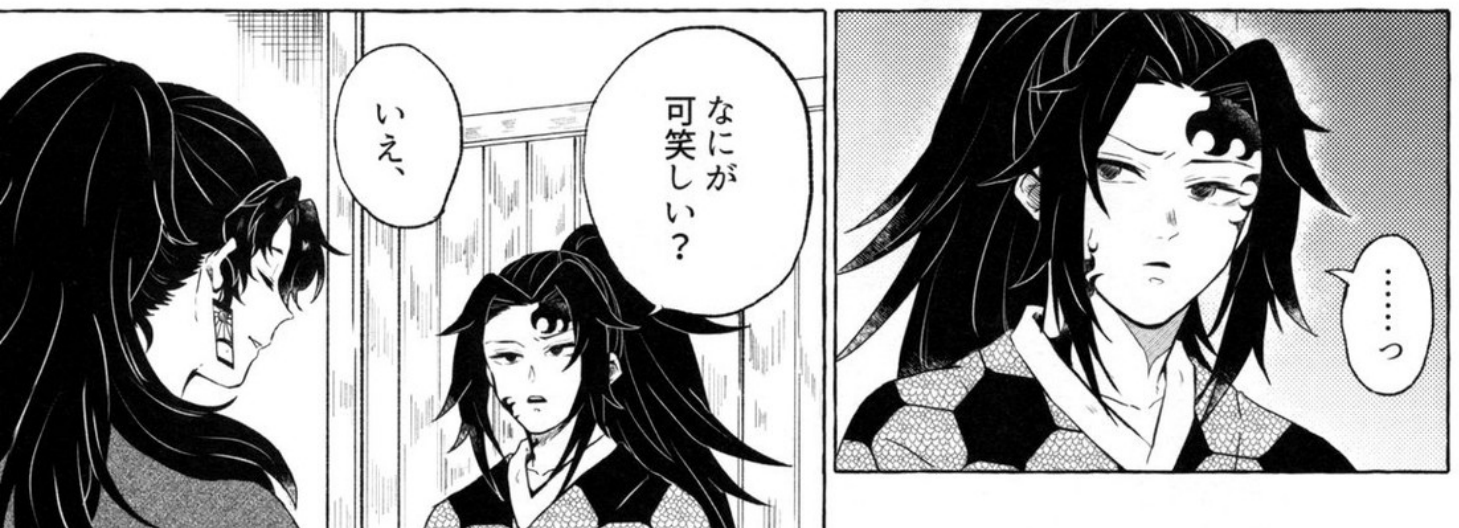
随分と狭く
感じるな



…
しかし



もつと他に
することは
無かったのか？
呆れて物も言えぬわ
はあ…





兄上と
同じことを
思っておりまし
たので：

それが
嬉しくて、



……
何が嬉しい？



考えが同じなど
吐き気がする

私はお前と
いるだけで：

兄上



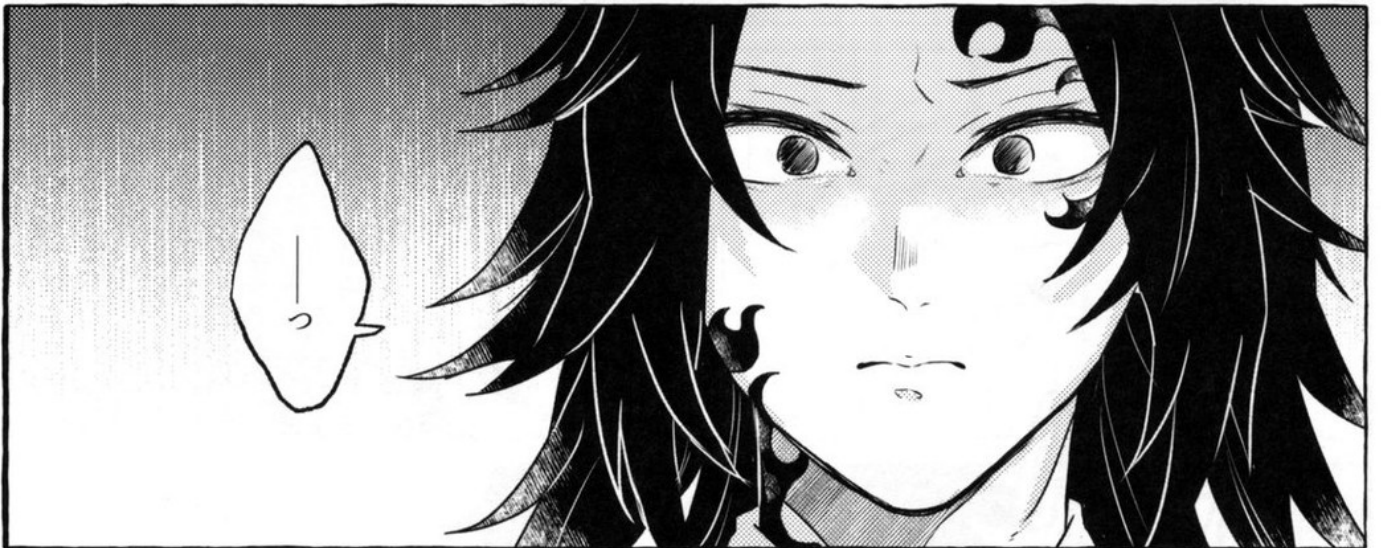
ここには
私たち以外
誰もおりません

鬼もない故、
剣を振るう必要も
ない：

誰にも邪魔されず
平穩に過ごせる
のです



もう一度
兄弟として
暮らしましょう



今すぐ
お持ちします

ああ、
申し訳ござい
ません
茶も出さずに
話し込んで
しまい…



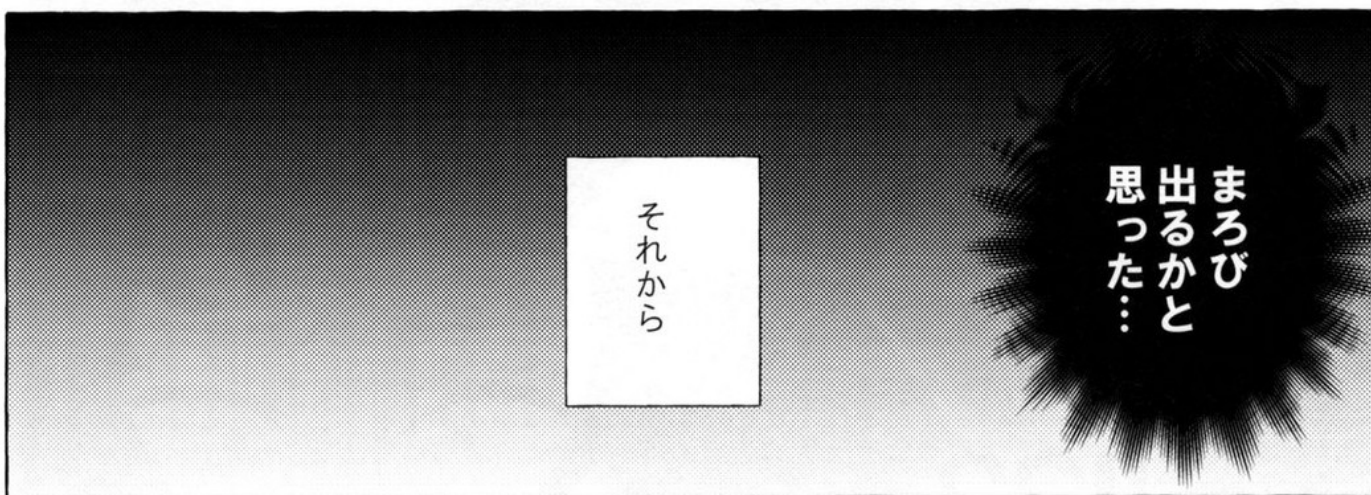




……
心臓が

……
あ

あたたかい
もので



まろび
出るかと
思った……

それから



……
しかし

隙を見て縁壱から
逃げ出そうと
試みた



どちらへ?

大層
難しい話で...



此奴から
逃げることは



兄上
風呂が
沸きました

結果は
全て同じ
だった



兄上

何度も逃げようと
試みたが...



はまー...





兄上と一緒に
布団に入ると
なんだか安心
します

一人で寝たほうが
広く使えて
良いだろう？

そうですが…
幼少の頃は
一人で眠るのが
怖い時がありました

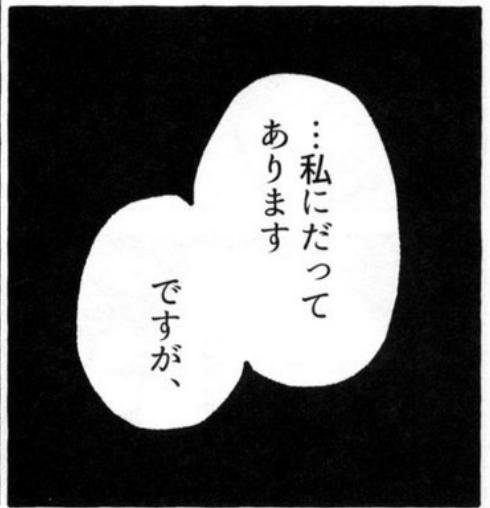
こんな時、
兄上がいて
くれたら

どんなに
心強いかと
ずっと思っ
ておりました

…お前でも
怖いと思うことが
あるのだな



今は何も怖くありません



私にだってあります
ですが、



何も致しません

もう少しこのままでいさせて下さい



申し訳ございません

……縁壺、私は疲れてると言ったのだが



……そうは言っても、



背中にお前のが
当たったまま
寝付けるわけ
なからう



何が兄弟として
過ごしたいだ

お前は
そのような目で
私を見ておった
のか？



…申し訳
ございません

…



少しくらい
焦った顔でも
見れるかと
思ったが：

相変わらず
無表情のままか



面白くないやつ

…気が変わった

お前に
付き合ってやる

まさかお前に
このような趣味が
あったとはな

趣味？

共に鬼狩りを
していた時ですら

浮ついた話を
聞かなかったのは
男色だから
なのだろ？

……
どうでしょう

しかし、

兄上を
抱きたいと思って
おりました

……
笑えぬ
冗談だな

冗談では
ないので
笑わないで
頂きたい

それに
もっとこちらに
集中して下さい

クニャ
!?









私が…、
あまり持ちそうに
ありません…っ



今すぐ
兄上が欲しい…

許して下さい
ますか…？



幾分か
いつもの顔より
良いがな…

…縁壱



…まあ、



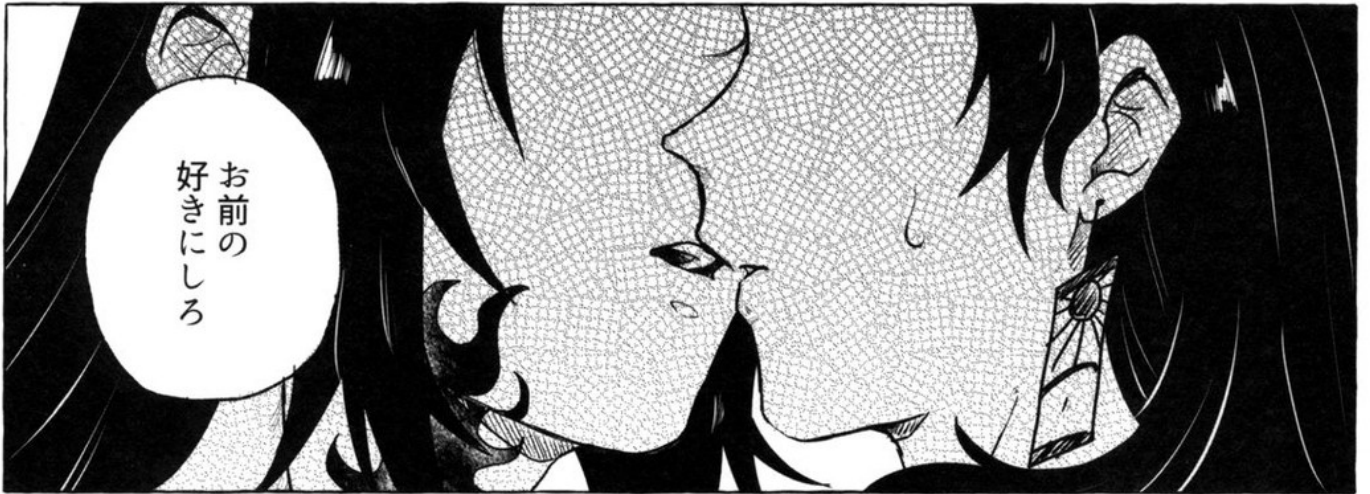
…お前こそ
なんて顔を
している

そのような顔は
初めて見たぞ



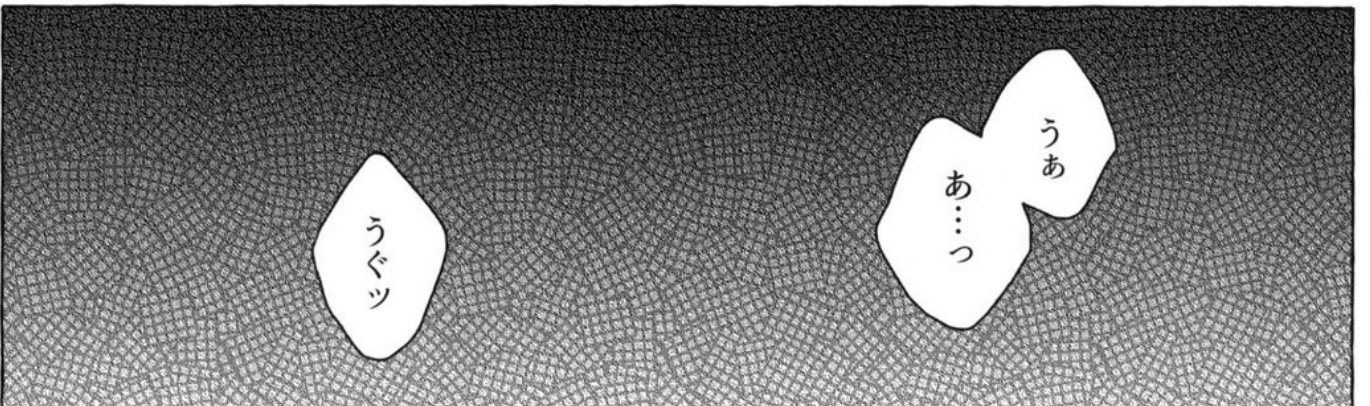
付き合おうと
言ったのは
私だ

いちいち
許可を取らず
ともよい



お前の
好きにしろ

…そうは
言ったものの、



うぐツ

うあ
あ…っ



わかりますか
兄上

奥を突くたびに
ナカが締まるのが…

そんなに
良いのですか？

ちが…っ

あっ

びく

はあ…っ



そんなに
好きでしたら

これから毎晩
ここを突いて
さしあげますね

あ

うあ…っ

だめだ…
頭が働かん

あっ



気持ち良すぎて
何も考えられなく
なってしまう…

兄上、お顔を
見せて下さい

んあッ！





ああ、本当に
愛らしい……っ

そんな
お顔をされては
離れられませぬ

ううっ

くっ

ふうう

ううっ



…まあ二度と
離すつもりは
ないですが

ずっと一緒に
いましょう
兄上

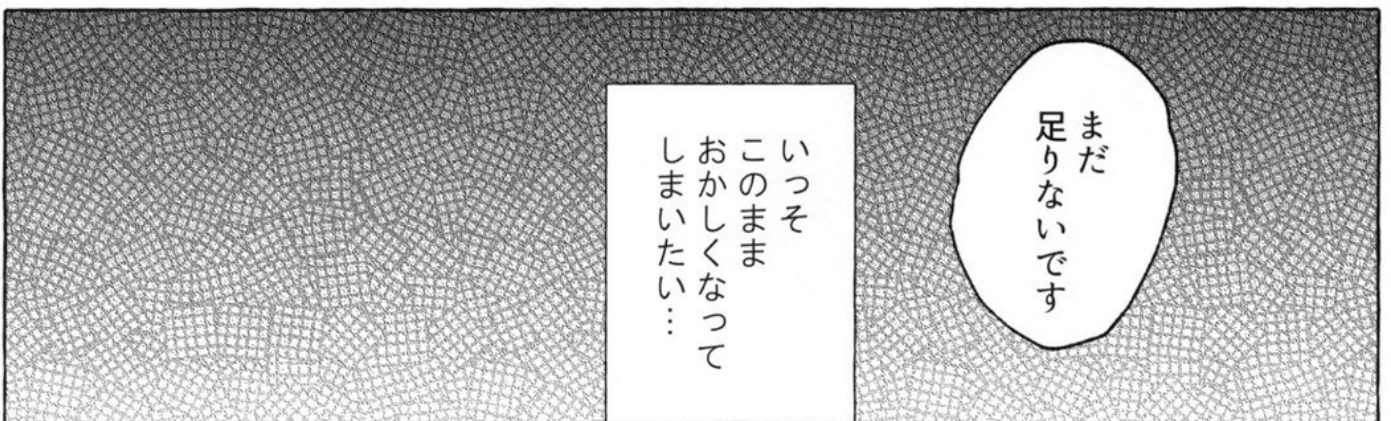
や……っ

止めっ



あ……っ！
まて……

それ以上はっ







私が布団から
出たら起きると
思っていたが

全く
起きる様子が
なかったな



よっぽど
疲れておった
のだろう



昔は物音一つで
起きてた
というのに…



少し休んだら
楽になった…
そろそろ戻るか





兄上!!



なんだ
朝から
騒々しい



…縁吉?



もう少し
静かに出来…









縁壹 × 巖勝